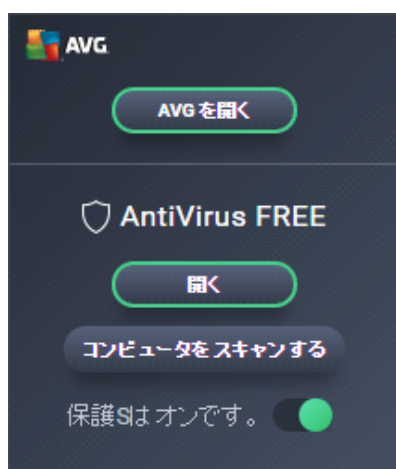


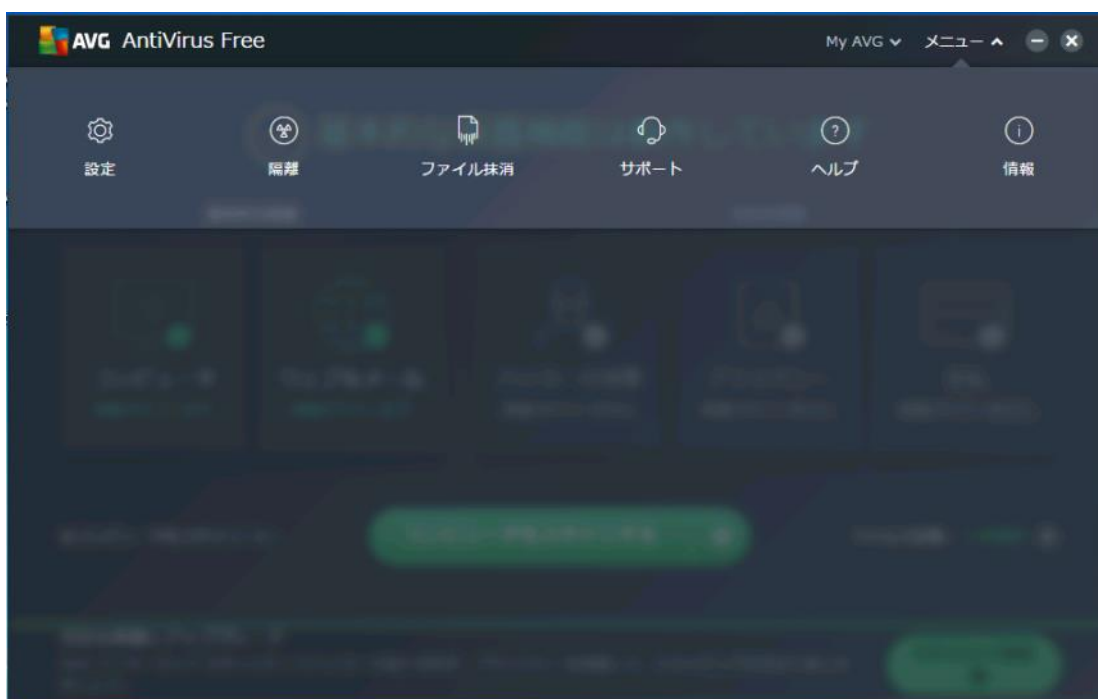
AVG AntiVirus FREE (Ver.18)

メイン画面と通知領域 (タスクトレイ) のアイコンを右クリックで表示されるメニュー





1. デスクトップやタスクトレイのアイコン、またはスタートメニューからAVG を起動します。
2. [メニュー]の[設定]をクリックします。



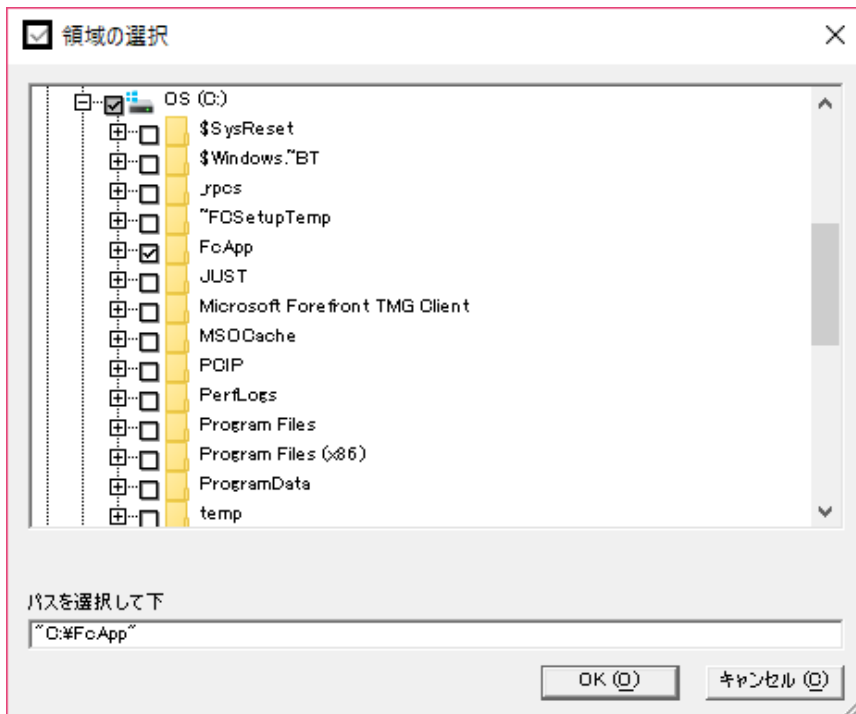
3. [一般]画面の[除外]をクリックします。



4 [例外]の[ファイルのパス]選択して、[参照]をクリックします。



5. フォルダツリーより対象フォルダを選択して[OK]をクリックします。



6. 正しいパスが表示されていることを確認して、[OK]で閉じます。



7. 除外リストに追加されます。同様にして、次のフォルダーもそれぞれ除外設定してください。

- ・ 32ビットOSの場合「C:\Program Files\Common Files\Fukui Computer Shared」
- ・ 64ビットOSの場合「C:\Program Files (x86)\Common Files\Fukui Computer Shared」

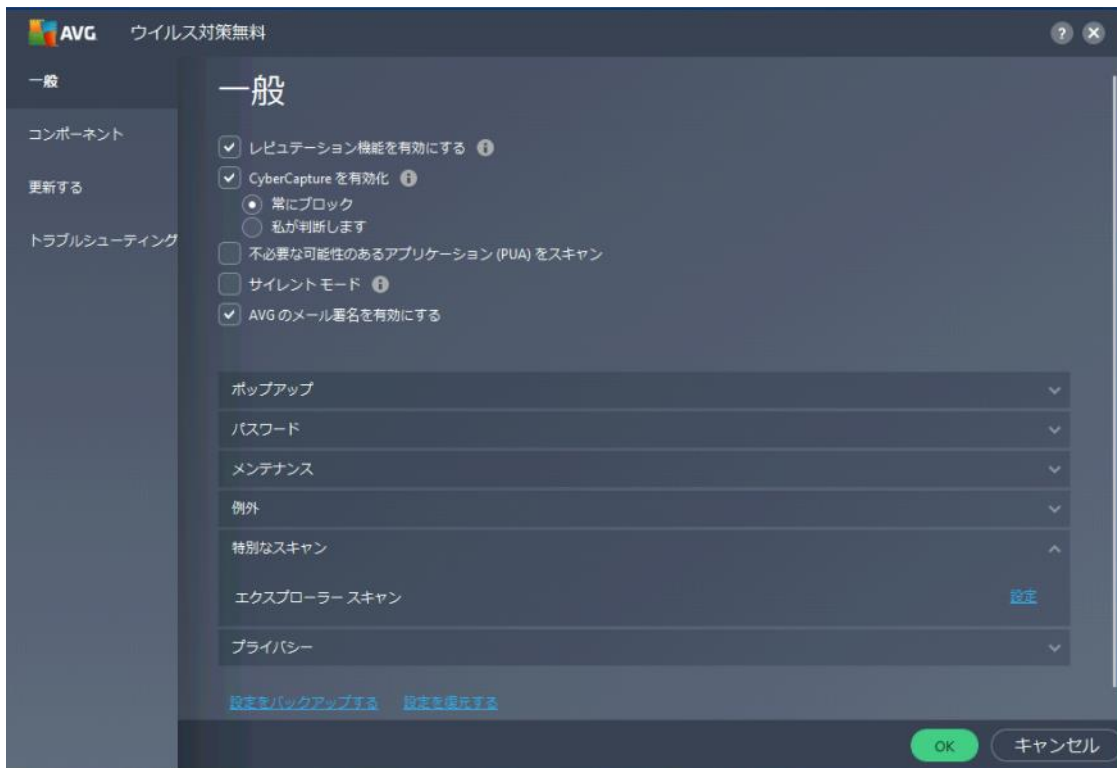
【32ビットOS】



【64ビットOS】



8. [一般]画面の[特別なスキャン]をクリックして、「エクスプローラースキャン」の「設定」をクリックします。



9. [スキャン]画面の「例外」をクリックして、「参照」をクリックします。

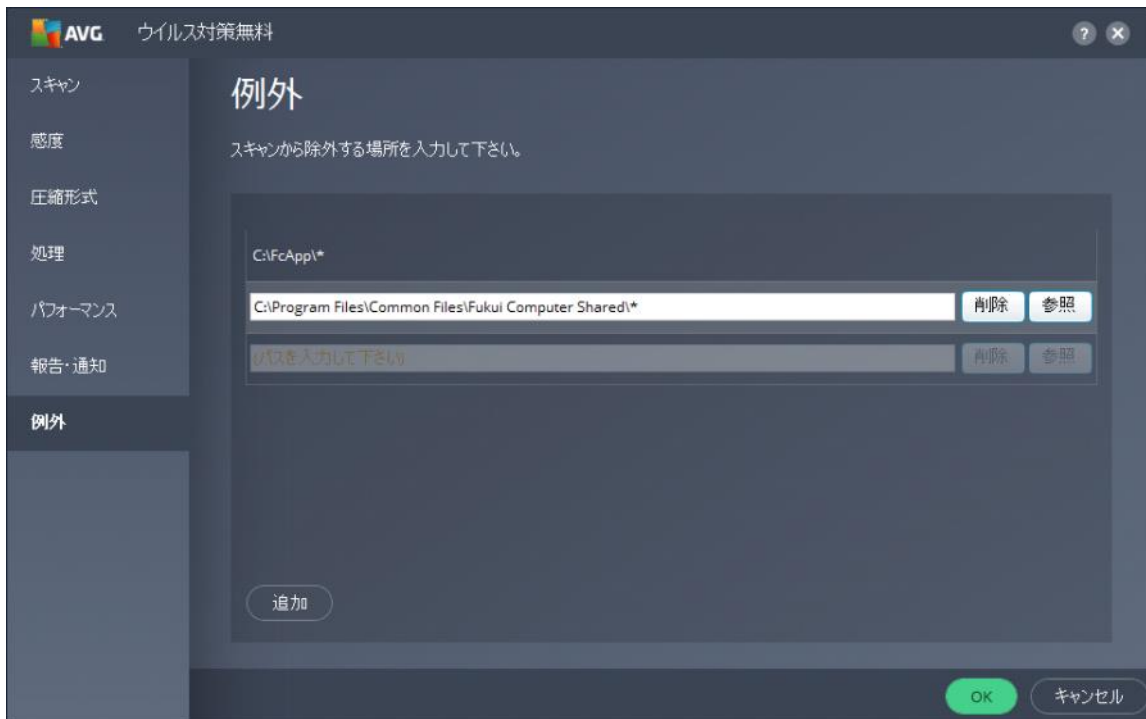
前述のように、[領域の選択] ウィンドウから、「×：¥FCAPP」を選択して設定します。（×はインストールドライブです） ウィンドウ左下にパスが選択されたことを確認し [OK] をクリックします。

同様にして、次のフォルダーもそれぞれ除外設定してください。

- ・ 32ビットOSの場合「C:¥Program Files ¥Common Files¥Fukui Computer Shared」
- ・ 64ビットOSの場合「C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Fukui Computer Shared」



【32ビットOS】



【64ビットOS】



10. 「コンポーネント」の「常駐シールド」の「カスタマイズ」をクリックします。



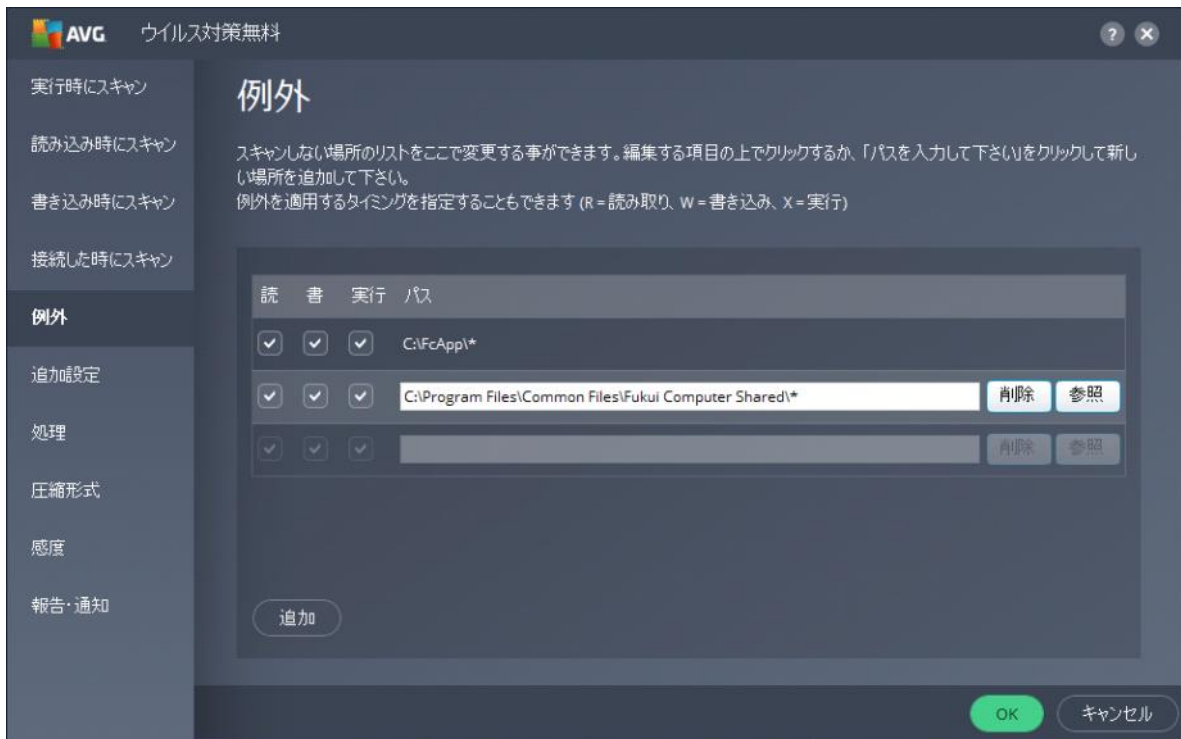
11.画面の「例外」をクリックして、「参照」ボタンをクリックします。

前述のように、「領域の選択」ウィンドウから、「×：¥F C A P P」を選択して設定します。（×はインストールドライブです）ウィンドウ左下にパスが選択されたことを確認し「OK」をクリックします。同様に、次のフォルダーもそれぞれ除外設定してください。

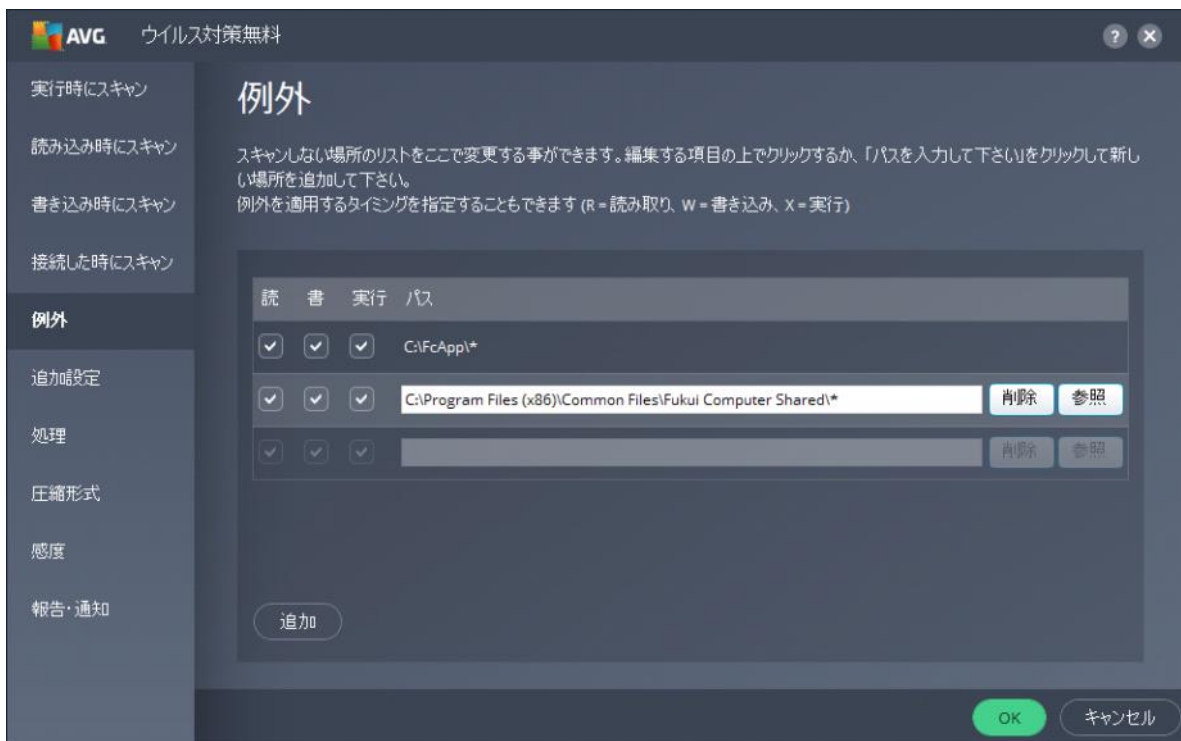
- ・ 32ビットOSの場合「C:¥Program Files ¥Common Files¥Fukui Computer Shared」
 - ・ 64ビットOSの場合「C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Fukui Computer Shared」
- 「読」「書」「実行」欄のチェックをオンにします。



【32ビットOS】



【64ビットOS】



12. 「コンポーネント」の「ソフトウェアアナライザー」の「カスタマイズ」をクリックします。



13.画面の「例外」をクリックして、「参照」ボタンをクリックします。

前述のように、「領域の選択」ウィンドウから、「×：¥F C A P P」を選択して設定します。（×はインストールドライブです）ウィンドウ左下にパスが選択されたことを確認し「OK」をクリックします。同様に、次のフォルダーもそれぞれ除外設定してください。

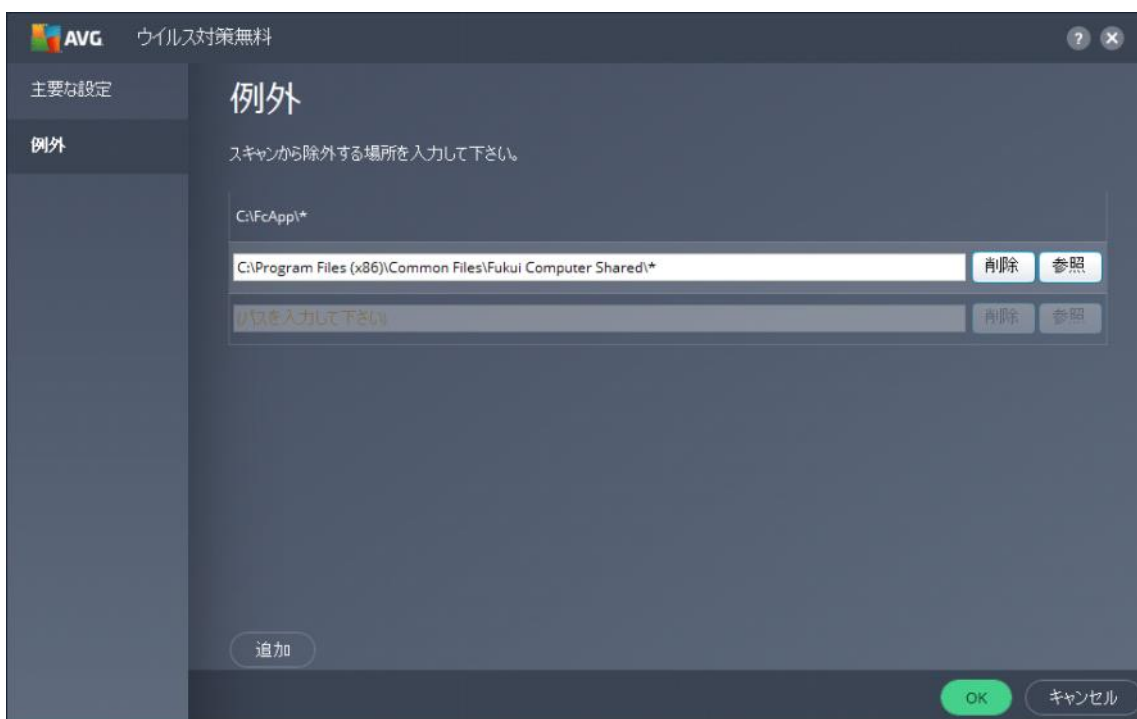
- ・ 32ビットOSの場合「C:¥Program Files ¥Common Files¥Fukui Computer Shared」
- ・ 64ビットOSの場合「C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Fukui Computer Shared」



【32ビットOS】



【64ビットOS】



14. 変更を確実に有効にするため、OSを再起動してください。